

おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

— 『一緒についていくよ』 —

NO. 21



放課後、あんずに来てくる子ども達と毎日過ごしていて、母屋の学校で頑張ってきた後の時間、私たちの役割は何なのかなあと、ず〜っと考えています。「え？今頃？そうなの？」と言われるかもしれませんが、子ども達一人ひとりの成長には着実なものがあって、少しずつですが、時々刻々変わっているからです。一人ひとりのキャラクターは小さい頃からの延長線上にあって、得意なところや苦手なところが、そうガラリと変わることはありませんが、「こんなに成長したんだ」「頼もしくなってきたな」「素敵な場面だな」と、その子の背中に感じる瞬間が毎日のようにあります。私達も「一緒についていけなくちゃ」と、日々気持ちを新たにさせてもらっています。

とはいえ、放デイで過ごすくらい年齢の子に、共通して大事だなと思うことが3つあります。

①『遊べること』

“今、これが好き” “終わったらこれをして遊ぶんだ” というものがある子は、何ごとにも強いなと思います。“熱中できる” とは、自分のペースで過ごせる時間を作れるってことです。興味関心を自分で広げていくことができます。好きなことから身近な人との関わりの輪が広がり、好きなことを掘り下げていくうちに、いろいろなことを覚えていきます。あとで好きなことが待っているから、「まあいっか」と、ちょっと人に譲れるようになるなど、いろいろなことに折り合いをつけていく“きっかけ”にもなります。“好きなこと、好きな遊びは一日にしてならず” ですので、小さい頃から耕しておきたい畑です。そして“遊び”はそのうち“趣味”とも呼ばれるようになります。

②『選べること』

渡したモノ、用意したことで過ごしてくれれば、周りはラクかもしれません。でも、あてがわれたモノで過ごすだけでなく、「どっちにしようかな」「何にしようかな」と、自分で考え、自分で選ぶって“生きていく”力の源だと思います。「どっちでもない」「今はいらぬ」という選択も大事です。いくつもメニューを用意しておく必要もありますし、本人も選べるメニューをいくつも持てるよう、日頃から経験や見聞を広げておくことも大切です。「どちらも捨てがたい…」なんて悩むようなら素晴らしい！ひとつが上手くいかなくても、もうひとつで楽しめるわけですから。「今はこっちにしよう」という気持ちが生活の幅を広げ、自分自身も過ごしやすくなります。

③『身のまわりのこと』

自分の身のまわりのことは自分でする（しようとする）ことです。自分でできなかつたら、誰かと一緒にかまいません。生活面が整っていると、それ以外のことにパワーを注げます。心が受け身ではなくなります。いろんなマナーを知り、経験することで世界は広がっていきます。遊びも学びも広がります。もちろん、急にできるようになることではありません。コツコツいきましょう。

こうやって書いているだけでも、一人ひとりの姿が浮かんできます。背中を丸めて熱中している姿や、笑顔で顔を真っ赤にしている姿が。子ども達が帰った後のスタッフの話も盛り上がってますよ。「あんなことがあった」「こんな姿にキュンときた！」って。



その場にいるみんながみんなに影響され、元気でいられる場所でありたいです。(H30. 2) K